

政策・施策・事業整理票

文化庁

政策

政策目標	12 文化による心豊かな社会の実現
概要	優れた芸術文化の振興を図るとともに、我が国固有の伝統文化を継承・発展させることにより、 <b>文化による心豊かな社会を実現する。</b>



施策

※平成29年度事前分析表より転記

施策の概要及び達成目標のどこを達成しようとしているのかわかるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

達成目標のうち、当該事業が具体的にどの達成目標にあたるのかわかるよう、該当部分を灰色に塗りつぶす。

施策目標	12-2 文化財の保存及び活用の充実
施策の概要	貴重な国民的財産である文化財を適切に保存し、次世代へ継承するとともに、 <b>積極的な公開・活用を通じて、広く国民が文化財に親しみ、その価値への理解を深める</b> ようにする。
達成目標1	価値が十分認識されないまま失われつつある近代の文化財など、保存が必要な文化財の状況を適切に把握し、その結果に基づき重要な文化財について積極的に指定等を行う。
達成目標2	文化財の適切な保存に配慮しつつ、 <b>積極的な公開・活用を行い、広く国民が文化財に親しむ機会の充実</b> を図る。



事業

※平成30年度レビューシートより転記

施策の達成目標と当該事業の目的・事業概要の関連を整理し、また当該事業の成果と上位施策との関係を明確にする。

当該事業の目的・概要・アウトカム・アウトプットのうち、どこが特に関連しているかわかるよう、該当部分を下線・太字で表記する。

事業名	観光拠点形成重点支援事業		
事業の目的	「明日の日本を支える観光ビジョン」における目標の1つである『 <b>文化財の観光資源としての開花</b> 』を達成するため、本事業において、 <b>歴史文化基本構想策定地域や、他のモデルとなるような優良な取組を実施する地域に対する重点的な支援</b> を行う。 <b>地域における入込客数の増加を目指すため、本事業で実施する様々な取組を通じて、自治体や地域住民が地域の文化財を深く理解し、発信していくとともに、本事業で得られた成果を広く周知することを目的とする。</b>		
事業概要	①歴史文化基本構想活用推進 歴史文化基本構想を策定した市区町村を構成員とする協議会等が、当該 <b>構想に基づき実施する情報発信、人材育成、普及啓発、公開活用</b> に資する <b>設備整備等を支援</b> する。 ②優良モデル創出 <b>文化財を中核とする観光拠点整備のモデルを形成するため、他省庁事業と連携し、文化庁は国指定等文化財の活用</b> に資する <b>修理・整備等を支援</b> する。		
アウトカム	①	定量的な成果目標	<b>地域の歴史文化に関する関心度・理解度の向上</b>
		成果指標	地域住民の文化観光ガイド養成講習会等参加者及び新たな文化観光ガイド登録数(各市町村の目標値の達成割合)
アウトカム	②	定量的な成果目標	<b>地域の歴史文化に関する関心度・理解度の向上</b>
		成果指標	<b>新たな文化観光コースの件数</b> (各市町村の目標値の達成割合)
アウトカム	③	定量的な成果目標	<b>地域の歴史文化に関する関心度・理解度の向上</b>
		成果指標	<b>地域住民の歴史文化に関するイベント等への参加や関わる人</b> (各市町村の目標値の達成割合)
アウトカム	④	定量的な成果目標	<b>入込客数の増加</b>
		成果指標	<b>支援市町村への入込客</b> (各市町村の目標値の達成割合)
アウトカム	⑤	定量的な成果目標	<b>入込客数の増加</b>
		成果指標	<b>支援市町村への外国人入込客</b> (各市町村の目標値の達成割合)
アウトプット	(1)	① <b>補助件数</b> (歴史文化基本構想を活用した観光拠点づくり事業)	
	(2)	② <b>補助件数</b> (優良モデル事業)	
本事業の成果と上位施策との関係	政策評価においては、文化財の適切な保存に配慮しつつ、積極的な公開・活用を行い、広く国民が文化財に親しむ機会の充実を図ることとしている。 本事業は、文化財を中核とする観光拠点の整備を推進し、観光振興及び地域経済の活性化を図るものであり、政策評価の達成目標に資する手段として有効である。		